

資料(2)

平成26年2月14日(金)公表

日本放送協会第1206回経営委員会議事録
(平成26年1月28日開催分)

第1206回経営委員会議事録 (抜粋)

<会議の名称>

第1206回経営委員会

<会議日時>

平成26年1月28日(火)午後1時30分から午後4時15分まで

<出席者>

〔委員〕

◎ 浜田 健一郎	○ 上村 達男	石原 進
上田 良一	中島 尚正	長谷川 三千子
百田 尚樹	本田 勝彦	美馬 のゆり
宮田 亮平	室伏 きみ子	渡邊 恵理子

◎委員長 ○委員長職務代行者(以下、「代行」という。)

〔役員〕

榑井 会長	小野 副会長	塚田 専務理事
吉国 専務理事	石田 専務理事	木田 理事
久保田 技師長	板野 理事	上滝 理事
福井 理事	下川 理事	森永 理事

<場所>

放送センター 22階経営委員会室 21階役員会議室

<議題>

- 榑井会長の就任記者会見について
- 副会長の任命の同意について

付議事項

- 1 視聴者のみなさまと語る会(奈良)開催報告(資料)

- 2 監査委員会報告(資料)

- 3 委員長報告

- 4 報告事項
 - (1) 平成25年度第3四半期業務報告(資料)
 - (2) 視聴者対応報告(平成25年10～12月)について(資料1)(資料2)
 - (3) 平成25年度子会社の決算見通しについて(資料)
 - (4) 平成25年度テレビ国際放送実施要請(変更)への回答について(資料)
 - (5) 契約・収納活動の状況(平成25年12月末)(資料)
 - (6) 地方放送番組審議会委員の委嘱について(資料1)(資料2)

- 5 その他
 - (1) 第89回放送記念日記念式典の実施について(資料)
 - (2) 「第65回日本放送協会放送文化賞」の贈呈(資料)
 - (3) 営業関係データ(都道府県別)について

議事経過

浜田委員長が開会を宣言し、経営委員会を開催。

○靱井会長の就任記者会見について

先日行われた靱井会長の就任記者会見での発言について、靱井会長から説明を受けた。会長からは、今回の就任記者会見で、個人的見解を述べたことは不適切であったと反省していること、今後も放送法に明記されている「放送の不偏不党、真実および自律の保障」を尊重するとの明言があった。

これを受け、経営委員間で意見交換を行った。

(主な意見)

- ・ 個人的見解の中身については、経営委員会で取り上げるべきテーマではない。
- ・ 今回の就任記者会見は、公共放送のトップとしての立場を軽んじたものである。
- ・ 会長職は私人ではない。公人であるとの認識をもってほしい。
- ・ 就任記者会見に臨む姿勢が甘かったのではないか。
- ・ 日本への信頼を寄せている国々への信頼回復が必要だ。
- ・ 今後の事態收拾に向け、覚悟を持って具体的な取り組みを行うべきだ。
- ・ 今後改善し、是正していく努力を見守るべきではないか。
- ・ 国民・視聴者の皆さまに対して、会長の任命責任を有する経営委員会としては、「遺憾である」ということを伝える必要がある。
- ・ 今後の動きを注視し、助言しながら必要に応じて苦言を呈することも必要。

○副会長の任命の同意について

梶井会長から、副会長の任命の同意について説明を受け、審議した。現在のNHKを取り巻く環境を鑑み、次回2月12日の経営委員会まで保留とした。

<会長、副会長、専務理事、技師長、理事入室>

本日の付議事項および日程について説明。第1195回(平成25年8月27日開催)以降の経営委員会における26年度予算編成に関する各回の審議経過の議事録および第1205回(平成26年1月14日開催)の議事録を承認し、所要の手続きを経て、平成26年1月31日に公表することを決定した。

(浜田委員長)

冒頭、梶井会長から何かあれば、ご発言をお願いいたします。

(梶井会長)

浜田委員長、ありがとうございます。まず、先日の就任記者会見における私の発言についてご説明させていただきたいと思います。

最初に、先日の就任会見における私の不適切な発言により、NHKおよび経営委員の皆さまに多大なご心配、ご迷惑をおかけしたことを深くおわび申し上げます。記者から繰り返しの質問を受けたとはいえ、不用意に私的な考えを発言したことは間違いであり、私の不徳の致すところです。発言の直後に取り消しを求めましたが、これを聞き入れてもらえず、報道されてしまいました。全体として、会長として適切さを欠いた発言であり、反省するとともに、陳謝したいと思います。記者会見の場で個人的な見解を発言したことは、会長として不適切でした。深くおわび申し上げます。

今後は、放送法に基づき、公平・公正、不偏不党などを旨として、職責を全うしたいと思います。以上です。

(浜田委員長)

私から、先日の会長就任会見の際のご発言に対して、経営委員長として一言申し上げます。議論が複数ある事項について個人的見解を述べたことは、公共放送のトップとしての立場を軽んじたものであると言わざるを得ません。改めて自分のおかれた立場を十分にご理解いただきたい。あわせて、説明責任をしっかりと果たし、執行部一丸となり総力を挙げて事態の收拾に取り組んでいただくことをお願いしたい。会長自身が再三再四発言されているが、不遍不党、公平・公正の理念をあらためてご認識いただき、放送法の趣旨にのっとり、覚悟を持って運営の手腕を発揮し、職務を遂行していただくことを強く希望します。

(室伏委員)

一言、申し上げます。NHK会長は、私人ではなく公人であり、そのお立場をしっかりとご認識いただきたいと思えます。NHK会長としてのご発言は、重みとともに影響力が大きいので、国内外において反響を呼び起こすものです。ご自身でも表明されましたように、国の内外に向けて、しっかりと対処していただきたいと思えます。特に我が国にシンパシーを持ち、支えようとしてくださっている多くの国の方々の信頼を失う結果にならないように、今後お覚悟を持ってご努力ください。

(美馬委員)

きょう会長から先日の就任会見の際のご発言に対してご説明いただきましたが、今後具体的にどのようにして事態の收拾を図ろうとされているのでしょうか。個人的に、あるいは執行部の皆さんと相談して対応されることになると思いますが、具体的なアクションについてのお考えや計画をお聞かせください。

(梶井会長)

まず、放送法にのっとり私の職責を粛々と実行していきたいと思えます。言葉ではなく、形として実行していきたいと思っています。現状をどのようにして収束させていくかについては、なぜこういうことになったか、そして私の不徳の致すところをご説明すると同時に、今後のNHKの番組等々については、視聴者の皆さまにより評価していただけるような姿勢で対応していきたいと思っています。本件については、簡単に片づくものではないと思えますが、忍耐強く、またみんなのお力をかりながら実行していきたいと思っています。

(浜田委員長)

先ほども申し上げましたが、事態の收拾は、容易ならざるものもあると認識しています。ぜひ執行部一体となって事態の収束に向けて取り組んでいただきたいと思えます。

(小野副会長)

今、会長と委員長のやりとりや経営委員のご意見を拝聴しましたが、経営委員会のご意向にもあるように、われわれも一丸となって事態の收拾に努力していきたいと思えます。お聞きおよびのように、きのうまでに視聴者から3,300件の反響があり、きょうの午前中は1時間に500件を超える反響が寄せられています。ある意味深刻な状態になっていると認識しています。今後どのように推移するか含めて、事態の收拾に向けた手だてを十分持ち合わせているかという、必ずしも確信を持ってない状況もあります。そういう中、われわれもさまざまな形で收拾に向けて取り組んでいきますが、最も恐れるのは視聴者の方々の反応です。平成16年に不祥事が発覚した際も受信料

(以下略)